平成爆弾

水無月 亜紀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平成爆弾

【コード】

N09510

【作者名】

水無月 亜紀

【あらすじ】

皆さんは言いたいのになかなかつた事、何か色々不満があると思います。この小説は、そんな不満を抱いた少女の物語。

ライフル少女

“女性にも意見を言う権利がある。”昭和かいつの時代か知らないけど、学校で習ったような気がする。たしか：平塚なんちゃらさんまあ名前が分からないのはおいといて、この平塚なんちゃらさんの言ってる事が正しいとしたら、私達、中学1年生にも意見を言う権利があると思う。私がこんな不満を抱いたのは、部活中だった。

「ハッハッハッハッ」

荒い息使いが聞こえる。今はアップ中。私はのんちゃんこと“木村のん”と、金ちゃんこと“金海 亜夢「アイム」“達とアップをしていた。

「奈乃芭「ナノハ」足大丈夫？」

のんちゃんが私に話し掛けてくる。

「本当だよ。左足捻挫してたやる？」

亜夢ちゃんも聞いてくる。

「うーん？」

私は曖昧に答えた。

「コラッ！ボケッとするな！」そんな時、私達の部活、すなわち陸上部の顧問が叫んだ。

「……はい。」「」「」

私達は声を揃えて返事をした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0951o/>

平成爆弾

2010年10月10日14時11分発行